

ガバナー月信

1st November

2013

Vol.5



ガバナーメッセージ（地区大会について）

1、ガバナー補佐の皆様と各クラブの会長・幹事、会員のご理解・ご協力により51クラブの公式訪問が終了しました。（残るのは狭山RC様だけです。）特に第4グループでは既に個々に公式訪問を済ませた4クラブを含めて全11クラブ合同での公式訪問例会・クラブ協議会・懇親会を深谷ロータリークラブ様のお骨折りで開催していただきました。懇親会での利き酒大会でガバナーチームは団体戦準優勝、私個人は個人戦3位で、素晴らしいお酒を頂戴しました。皆様ありがとうございました。

2、さていよいよ本年度の地区大会が迫ってまいりました。RI会長代理として松本茂太郎様（RI第2510地区2004-05年度ガバナー、現第3ゾーンRRFC、福山RC）をお迎えし、今月28日（木）にご夫妻歓迎晚餐会を川越プリンスホテルで午後6時から開催します。29日（金）は、午前10時から指導者育成セミナー、RI会長代理松本様歓迎昼食会、記念コンサート、式典と続いて午後6時に終了する予定です。場所は、29日の午前は所沢市民文化センター（ミュージズ）の管理棟2階の展示室です。午後は、サントリーホールと並んで日本有数のパイプオルガンがある大ホール（アークホール）（2002人収容）で開催します。約1年前に平日ならいつでも大丈夫と思って地区大会会場として予約に行ったところ大ホールが予約できる日は、10月は全部だめ、11月も2日だけでした。そして展示室やリハーサル室なども使用できる日は11月29日だけだったのです。利用者が多いとは以前から聞いていましたが、盛況ぶりにあわてました。

3、さて今回は一般会員の方は、29日の午後からご参加いただくことにしました。私は「継続」「変革」「簡素」「充実」のバランスのとれた地区運営を目指しておりますが、その根幹にあるのは「思いやり」です。意外の感をお持ちかもしれませんが、今年の地区協や地区大会のやり方は、私なりの「思いやり」と「簡素」を目指したものです。

地区協を例にすると昨年度は大学の体育館で開催しました。学校の体育館は、10代や20代の元気な若者が運動をする場です。一般論として避難場所に指定されている学校施設や公民館などでも耐震基準をみたしていないところが多くあります。

体育館では天井板が落下する事故もありました。学校の体育館には冷暖房がないところが大半です。昨年度は4月の下旬にもかかわらず大変寒い日でした。そして体育館での会議や式典となると前日から設営をし、当日あと片づけをしないといけません。そして椅子は長時間座るのは苦痛になる椅子が普通です。設営をするロータリアンも来場するロータリアンも青少年ではなく、大半が還暦をすぎた高齢者です。冷暖房のない体育館を会場にして座り心地の悪い椅子に長時間拘束するのは思いやり欠けるというのが私の考えです。

そこで私は、ホテルを地区協の会場にして、会議時間を短くし、かつ質疑応答に時間をかけて退屈さを減らし、会議終了後は簡単な飲食を伴う懇親会にしました。会場費はかかりますが、設営や片づけの苦労が減ります。案内書や報告書作成費をなくして会場費とささやかですが飲食代に充てました。好評だったと聞いています。

地区大会では他地区でも一般会員は屋外のテントでお弁当の昼食が普通です。式典会場は飲食できないところが多いため、ミュージズも大ホールでは飲食できません。仮に地区内会員が全員来場されたら飲食の場は屋外のテントにせざるをえません。

しかし、師走目前という時期に屋外のテントで召し上がっていただくのはよほどの好天でないとご不便やご迷惑をおかけします。そこで簡素と一石二鳥の「昼食なし」にして一般会員は午後から来場して頂くことにしました。

4、ところで地区大会は、RIの規定では、「丸2日～3日間」「祝祭日や行事と重なる日を避ける」「晚餐会・昼食会、会長幹事との懇談会などを除いて本会議を9時間以上行う」ことなどが推奨されています。これを全部

守っている地区はほとんどありません。

今回は、まず祝祭日ではない平日に開催し、午前中約2時間の本会議、記念コンサートを含めて午後約5時間合計約7時間を確保しました。

ゴルフ大会を除いた当地区の過去の地区大会の会議時間と遜色のない時間数と考えています。(ゴルフ大会は、来年の気候のよい時を検討しています。)

午前中の本会議は各クラブの会長幹事またはその代理の方合計104名を中心にして、諮問委員、危機管理委員長以外の地区委員会委員長、ガバナー補佐、3年以上クラブで指導的役割をした会員と地区外からのご来訪者を対象にしています。

セミナーの講師は、第2520地区の2005-06年度ガバナーでRI研修リーダーの桑原茂様(塩釜RC)です。会員増強と東北大震災の現況について講演をお願いしました。その後は同じ会場でRI会長代理ご夫妻を囲んでの昼食会を開催します。

遠路わざわざお越しいただいた地区外のご来訪者には別途のおもてなしをさせていただく予定です。

5、今年の地区大会ではあらかじめ選挙人の氏名などをお届けいただき、投票による採決に備えています。あわせて各クラブに「地区大会の投票ではクラブは平等ではない」ことをご確認頂く場にしました。ガバナー・ノミニ・デジグネート(2016-17年度ガバナーのことです。)の選出だけでなく、地区会計規定案や決議案についても選挙人による投票で決めますので、先にお願ひした通り、選挙人の選出、届出、当日のご出席にご留意ください。

地区会計規定案は本月信に掲載しますので各クラブでご検討のうえでご来場ください。(修正案やご意見はできるだけ早く地区大会事務局にご提出ください。)

尚、2012-13年度収支報告と監査報告については先のご案内では本会議で質疑応答の上で採択をするとお知らせしましたが、正規の監査がなされていない疑いその他の問題が多々あるため現時点では上程しない方針です。その他の問題の一つは、「ロータリー希望の風奨学金」へ年度終了後しかも収支報告を終えて、財務委員会会計委員による監査後に寄付した(9月26日受付)件です。この寄付は、地区協で決定された予算がなく、地区大会でも予算化されていませんし、9月13日の収支報告でも年度内(今年6月30日まで)の支出になっていません。年度予算に全くない寄付(165万円)を監査終了後に剰余金から支出したことであります。鈴木直前ガバナーや鈴木年度役員は鈴木年度が終了して2カ月以上も経過した今年の9月に

地区資金を支出する権限がおありなのでしょうか?

「ロータリー希望の風奨学金」を運営しておられるのはパストガバナーで構成される協議会ですからロータリー年度について十分ご承知と考え、年度終了後に地区資金から前年度ガバナーが寄付できるのかと前年度ガバナーによる地区資金での寄付と承知しながら受領して問題はないのかなどをメールで質問しました。

本メッセージ作成時までにはご回答はありません。

私は、6月30日までに執行しなかったときは7月1日の残額全額が繰越金として本年度に引き渡されるべきだと考えます。皆様はいかがお考えでしょうか?ご意見をお待ちしています。尚、2012-2013年度地区大会の記録(報告書)によると、収入1745万7000円支出合計1742万8541円で差額は本会計に繰り入れとなっています。

地区大会決議第6号でR財団と(勲)米山記念奨学会とロータリーの希望の風奨学金に「金一封」を贈呈し、埼玉県と鴻巣市に寄付することを決議しましたが、収支報告の記念事業費は169万9000円で、埼玉県30万円、鴻巣市25万円と「ロータリー希望の風」に114万9000円となっています。県や市への寄付金額や金一封はこの報告書ではじめて金額がわかりましたが、R財団と米山記念奨学会への「金一封」は計上されていません。(決議あるいは目録だけだったのでしょいうか?)その他の支出にR財団寄付20万円RI会長代理分とありますが、内容がよくわかりません。色々疑問があります。しかし、今回私が問題にしているのは地区大会記念事業のなかの寄付ではなく、9月13日の収支報告後の寄付165万円です。

6、ともあれ今度の地区大会は、所沢市内5クラブ会員が全力で皆様をお迎えする準備をしております。地区大会を企画運営専門業者に依頼するとそれだけで400~500万円かかると聞きましたので会員の手作りで企画、設営、運営を致します。

不慣れのために不行き届きの点が多々生じるかもしれませんが、ご容赦頂き、手作りの地区大会をお楽しみ頂きたいとご案内申し上げます。

地区大会での国際ロータリー会長代理 松本茂太郎様の略歴

所 属 福山ロータリークラブ

職業分類 染色捺染

ロータリー歴

1986年 福山ロータリークラブ 入会
1990年 幹事
1996～97年 第2710地区地区幹事（地区財団委員長）
1998～99年 会長
1999～2000年 第7分区 ガバナー補佐
2004～05年 第2710地区 ガバナー
2003～05年 米山記念奨学会 評議員
2007～08年 米山記念奨学会 財務委員会委員長
2008～09年 RI 研修リーダー
2008～09年 第2710地区 地区研修リーダー
2009年度 ロータリー財団 年次寄付アドバイザー ゾーン3, 4A 担当
ARRFC（ロータリー財団地域コーディネーター補佐） ゾーン3 担当
2010年度 第2710地区 職業奉仕・社会奉仕 カウンセラー
2011年度 第2710地区 会員組織委員会 カウンセラー
2012年～ RRFC（ロータリー財団地域コーディネーター） 第3ゾーン担当
2013年度 第2710地区 ロータリー財団委員会 アドバイザー

ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、
大口寄付者、ベネファクター、ポール・ハリス・ソサイアティー、
米山功労者（メジャードナー）、米山功労法人（山陽染工（株）福山ガス（株））

職 業

福山ガス株式会社、内外物産株式会社、福山ガス産業株式会社、
各代表取締役社長
山陽染工株式会社、中国紡織株式会社、ダイヤ石油株式会社
各代表取締役会長
香港内外有限公司 董事長

公 職

財団法人松本育英会 理事長
福山商工会議所 副会頭
（社）発明協会広島県支部 常任理事
福山大学 評議員

R I 第 2 5 7 0 地区会計規定（案）

2013-14年度ガバナー 中井 眞一郎
同年度地区財務委員会委員長 大舘 則夫

- 1、ガバナーはじめ地区役員は、地区資金は国際ロータリーからの交付金も含め会員が拠出した浄財であることに十分留意し、財務情報の透明性を推進し、会議においては日時・場所・参加人数と参加者の個人負担額を明確にし、地区資金の用途についての質問などには誠実に対応しなければならない。
- 2、ガバナーや地区幹事が関与する事業所は、当地区と有償の取引を慎むこととする。
但し、緊急やむを得ない場合と複数の見積書の最低額より1割以上低額の場合は財務委員長の許可を得て有償での取引を行うことができる。
- 3、地区資金はガバナーの指示のもとに地区財務委員会が管理し、会計が実務を担当する。
但し、ガバナーエレクト事務費の管理はガバナーエレクトが指定する者が行い、速やかに地区財務委員会に証拠書類を添えて報告をする。
用途を指定して徴収した負担金や特別会計の収支もこれに準ずる。
- 4、地区資金、特別会計その他の資金の決算は、年度終了後速やかに行い、財務委員会監査の監査を経て、ガバナーと地区幹事がこれを地区内各クラブに報告する。
後日地区大会において決算報告と監査報告をして承認を受けるものとする。
- 5、地区資金より支払うもの（その1）
 - (1) ガバナー経費としてR Iが承認した経費およびガバナー会など全国的な組織に当地区が加入していることに伴う会費などの費用
 - (2) 公式訪問に要した交通費（同行者の分も含む。）
尚、ガバナーとガバナー補佐のビジター費（食事代金）は、公式訪問を受けるクラブの負担とし、ガバナーとガバナー補佐はニコニコの寄付をしない。
但し、例会後の懇親会の登録料は、ガバナーを含めて参加者個人負担とする。
 - (3) 地区事務所とガバナー事務所の家賃、通信費および事務員の雇用に伴い必要となる費用
 - (4) 地区事務所とガバナー事務所の什器備品と雑費（節約に努めることとする）
 - (5) ガバナー・元ガバナーら懇談会、ゾーン研究会やロータリー研究会とこれらに付随する地域財団セミナーなどの会議、インターアクトなどの年次大会その他全国的な会議・会合の登録料及び開催地が遠隔であるときは別に定める旅費規定により参加者の旅費・宿泊費の一部または全部。
尚、会議の登録料と別に晩餐会など会食の登録料が必要な場合は参加者の個人負担とする。
国際大会については、ガバナーおよびガバナーエレクト両夫妻の登録料とガバナーナイトでのガバナー夫妻以外の参加者から徴収した登録料で不足する金額を支給する。尚、国際大会参加の場合は旅費宿泊費の補助はしない。この登録料などは、当初予算の範囲内で支給するものとし、参加希望多数のときはガバナーが参加者を限定するか参加費用の一部補助とすることができる。

(6) ガバナーと夫人が他の地区の地区大会に出席するときの登録料と旅費・宿泊費。但し、当該年度総額で10万円を上限とする。

地区大会の登録料などはパストガバナーとガバナーノミニーには支給しない。ガバナーエレクトはエレクト事務費として予算化された中から支出できる。

(7) ガバナー補佐・地区幹事には交通・通信費・研修費などとして一人年額10万円を2回に分割して支給し、これについては精算と報告を要しない。

但し、領収書などを添えて実際にかかった費用を財務委員長に請求してこれを受領することもできる。

(8) 規定審議会代表議員の参加補助金は30万円とする。

(9) ガバナーエレクトには予算化されたエレクト事務費を8月末日までに指定口座へ一括して送金する。

G E T S、国際協議会、他の地区の地区大会の参加に要する費用（登録料や旅費のほか名刺やお土産代金などを含む）などをエレクト事務費から支出できるが、その報告を財務委員会に速やかに行う。

尚、国際協議会参加にあたりエレクト事務費とは別に50万円を支給する。

(10) 地区委員会は、予算の範囲内で必要な支出ができるが、できるだけ節約に努め、支出後速やかに財務委員会に報告する。

当初予算額を超えるときは事前に財務委員長の許可を得なければならない。

(11) 上記に定めのない場合ガバナーと地区財務委員長、地区幹事が協議して予備費の範囲内で年度内に限り支出できる。

6、地区資金から支払うもの（その2）（地区慶弔規定）

(1) クラブ創立記念式典、周年記念式典にあたっては生花1基を贈り、ガバナーが夫人と出席する場合の祝金は2万円、ガバナーのみ出席のときは1万円の祝金とする。

(2) 会員が逝去されたときは、弔電を送り、ガバナー月信に掲載して弔意を表し、地区大会でご紹介のうえ黙祷を捧げる。

(3) 会員個人の慶事と会員以外が逝去されたときは地区としての対応はとらない。

(4) ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、地区委員会委員長など地区役員が退任されたときは、地区大会で感謝の意を表する。（記念品は贈呈しない。）

(5) 上記に定めのない時は、ガバナーが地区幹事と協議して対応できるものとする。

7、付則

本会計規定は地区大会で選挙人の過半数による同意を得たときに限り変更できるものとし、本日まで施行済みの案件を除き、2013年7月1日にさかのぼって施行する。

第2570地区 7月1日付-9月末 会員数 (2013-2014)

グループ	クラブ名	2013年7月1日付		9月末会員数		目標 純増	通算 純増
			内女性		内女性		
第1グループ	川越	86	0	85	0	4	-1
	東松山	30	1	34	1	1	4
	小川	10	1	10	1	2	0
	坂戸	24	0	26	0	3	2
	越生毛呂	26	3	27	3	2	1
	川越小江戸	10	0	10	0	0	0
	川越西	12	0	14	0	4	2
	鶴ヶ島	28	2	27	2	2	-1
	川越中央	34	0	34	0	2	0
	坂戸さつき	20	4	20	4	0	0
	東松山むさし	37	4	38	4	2	1
	第1グループ計	317	15	324	15	22	7
第2グループ	朝霞	32	0	32	0	3	0
	志木	49	0	49	0	1	0
	富士見	50	0	50	0	2	0
	新座	27	2	28	2	2	1
	和光	12	2	12	3	2	0
	朝霞キャロット	13	0	13	0	2	0
	志木柳瀬川	12	0	13	0	0	1
	新座こぶし	11	1	12	1	5	1
	第2グループ計	206	5	209	6	17	3
第3グループ	入間	39	2	39	2	2	0
	所沢	58	4	61	4	7	3
	飯能	57	0	57	0	2	0
	狭山	12	0	12	0	1	0
	新所沢	17	1	20	1	0	3
	日高	25	3	26	3	1	1
	所沢西	37	1	37	1	2	0
	新狭山	21	0	21	0	0	0
	所沢東	37	3	38	3	2	1
	入間南	39	0	39	0	3	0
	所沢中央	35	0	35	0	5	0
	狭山中央	34	6	34	6	3	0
	第3グループ計	411	20	419	20	28	8
第4グループ	深谷	58	9	58	9	2	0
	本庄	71	7	74	7	5	3
	秩父	52	0	51	0	2	-1
	寄居	38	0	37	0	0	-1
	児玉	11	0	11	0	0	0
	岡部	18	2	18	2	0	0
	深谷東	76	0	72	0	2	-4
	川本	11	0	13	0	0	2
	皆野・長瀬	12	1	14	1	2	2
	本庄南	19	0	19	0	2	0
	深谷ノース	34	0	34	0	5	0
	第4グループ計	400	19	401	19	20	1
第5グループ	熊谷	91	3	92	3	4	1
	行田	54	4	54	3	3	0
	羽生	43	3	43	3	2	0
	加須	31	0	32	0	0	1
	熊谷西	11	0	13	0	0	2
	行田さくら	41	0	41	0	2	0
	熊谷東	31	2	31	2	2	0
	吹上	10	0	10	0	0	0
	熊谷籠原	27	0	27	0	3	0
	熊谷南	23	1	23	1	3	0
	第5グループ計	362	13	366	12	19	4
	地区合計数	1696	72	1719	72	106	24

2013年10月22日付

第38期 日豪青年相互訪問団員候補者募集案内



第38期生



日豪青年相互訪問団員候補者募集案内



訪問国 オーストラリア パース周辺地域
(国際ロータリークラブ9455地区)
訪問日程 2014年3月8日(土)～23日(日)(予定)
(宿泊は、主にロータリークラブ 関係者宅のホームステイとなります。)
参加費用 200,000円
(渡航費・滞在費・豪州チーム来日時の行事参加費一部含む)
募集人員 10名程度
主な行事 歓送迎パーティー、3泊4日のショートツアー、
パース近郊のツアー、滞在先の家庭での交流等々



応募資格

- ・日本国籍を持つ年齢16歳～30歳までの健康な男女
- ・2570地区ロータリークラブ 会員の子弟、親類縁者の青年を原則とします。
(但し、ロータリークラブ会員の推薦による青年の応募も可能です。)
- ・原則としてオーストラリアチームの団員をホームステイで受け入れること。
(受入期間：2014年1月24日(金)～2月8日(土) 予定)
- ・3回程のオリエンテーションに参加できる方
(12月～2月に開催予定となります。)



応募書類と 手続き

- ・居住地域等のロータリークラブの推薦を受けて下さい。
- ・申請書3部、原本＋北へ2部(1部は推薦ロータリークラブ 控えと成ります。)
- ・写真2枚、1枚は申請書に添付、他1枚は写真裏に氏名記入
(6ヶ月以内に撮影したもの。上半身正面像5割×3.5割)

応募方法

- ・まずはE-mailにて申請書を送信下さい。(標題: 日豪青年相互訪問応募)
(推薦ロータリークラブ の記入は、後日書類郵送までに受けて下さい。)
- ・後日下記の宛名に申請書などを郵送下さい。申請書2部、原本＋北へ1部 写真
(申請書北へ1部は推薦ロータリークラブ 控えと成りますので、推薦クラブに渡して下さい。)

選考試験と 選考結果発表

- ・選考日 2013年12月上旬
- ・選考試験内容 書類選考等
- ・選考結果発表 選考結果は推薦クラブ、本人宛に連絡します。



- ・応募締め切り 2013年12月10日までにE-mailにて申請書を送信下さい。
(1週間以内に受付の返信メールを送ります。返信無き場合はお問い合わせ下さい。)
- ・応募先 国際奉仕交流委員会 委員長 金子 章
E-mail: saisen_inc@ybb.ne.jp
〒367-0022 本庄市日の出3-7-9 (株)サイセン内
TEL 0495-22-6245 Fax 0495-24-8692
携帯TEL 090-3213-8970
- ・ご不明な事や質問などございましたら、お問い合わせ下さい。

第38期日豪青年相互訪問団員候補者申込書

第38期日豪青年相互訪問団員候補受験申込書

受験申込番号		(* 番号記入しないで下さい)	年 月 日
--------	--	-------------------	-------

フリガナ

受験者名

㊞

英文表記

(

)

(* パスポート記載とおり)

5 × 3.5写真貼付

生年月日西暦

年

月

日

(

歳)

男・女

(千

ー

)

フリガナ

現住所

電話番号:

(自宅・勤務先)

携帯電話:

e-mail:

Fax:

勤務先

(職種:

)

学校名

(

年生)

趣味:

特技:

資格:

家族構成

氏 名	英 文	年 齢	続 柄	職 業

ロータリークラブ推薦書

当クラブは、上記の受験者を日豪青年相互訪問団員として推薦いたします。

年 月 日

推薦ロータリークラブ名

:

会長

㊞

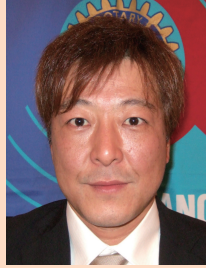
新入会員紹介



佐々木 益美
志木柳瀬川 RC



鈴木 義行
川越西 RC



土門 健司
熊谷西 RC



幸森 康夫
新所沢 RC



宮根 健治
鶴ヶ島 RC



磯谷 宏行
東松山 RC



笠原 俊也
東松山 RC



山中 將重
東松山 RC



新井 隆
東松山 RC

R 財団表彰



摂田 順一
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



後藤 賢治
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



繁田 光
ポール・ハリス・
フェロー
入間 RC



細淵 克則
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



吉沢 誠十
ポール・ハリス・
フェロー
入間 RC



齊藤 福太郎
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



伊藤 和夫
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
東松山 RC



倉持 成一郎
ベネファクター
行田さくら RC

米山財団表彰



大舘 信夫
(有)大進産業

準米山功労法人
所沢西 RC



石井 一則

米山功労者
熊谷南 RC



稲見 淳

米山功労者
狭山中央 RC



宮野 ふさ子

米山功労者
狭山中央 RC



江原 伸夫

米山功労者マルチプル
狭山中央 RC



中谷 和美

米山功労者マルチプル
狭山中央 RC



寶積 克彦

米山功労者
メジャードナー
狭山中央 RC

訃報



山口 賢一

享年 76 歳
2001 年 4 月 11 日入会
在籍 12 年
2013-14 年度 会長エレクト
熊谷籠原 RC

2013-2014 年度ガバナー 中井 眞一郎

国際ロータリー第 2570 地区 地区事務所

〒335-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2 丁目 5 番地 14 号 紫雲閣 3F

TEL.(0493)21-2570

E-mail=d-office@mail.rid2570.gr.jp

FAX.(0493)21-2571

Website=http://www.rid2570.gr.jp